



会 議 録

会議の名称	行田市在宅医療・介護連携推進協議会 普及啓発部会	
開催日時	令和2年10月8日(木) 開会：19時00分・閉会：20時30分	
開催場所	やすらぎの里2階 福祉団体支援室	
出席者(委員)氏名	松井 毅 浅見 和成 寒河江 涼介 山岸 克也 加藤 里美 川島 治	
欠席者(委員)氏名	荒木 宏 矢那瀬 淳一 清水 由香理 藤村 幸子 藤川 明美 高松 真由美 山岸 朱美 新井 竜 近藤 慶一 前田 千穂	
事務局	高齢者福祉課 地域包括推進幹 横山 地域包括ケア担当 代	
会議内容	広報市「行田人」第9号以降の内容について	
会議資料	(資料名・概要等) 広報市「行田人」第9号以降の内容について	
その他必要事項		
会議録の確定		
確定年月日	主宰者記名押印	
2021年3月26日	松井 毅 浅見 和成	 

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
松井委員	<p>○開 会</p> <p>皆さんこんばんは。お忙しいところお集まり頂き有難う。</p> <p>今回は節目。行田人は今、校正の段階ですが第8話までできた。</p> <p>第9号で「ふらべえさんサポート大作戦」は完結。次回ケアマネと包括支援センターの紹介。第9号は来年発行予定。どんな記事を書いたら良いかご意見をお聞きしたい。</p> <p>その前に川島会長からお話しいただく。</p>
川島会長	<p>感染講習会を医師会で開く。昨年は24事業所274名参加していただいた。今年はZoomで開催し、医療的な事のQ&amp;Aに返答する形式で考えている。小規模の事業者も参加できるようにする。高齢者だけでなく障がいとか市にも入っていただく。是非ご参加下さい。</p>
松井委員	<p>それでは、第9号の記事に関するご意見をお願いします。</p>
浅見委員	<p>第9号以降の仮の内容を書いた。今まで「ふらべえさん一家サポート大作戦」で「ふらべえさん」を題材にしていたが、「ふらべえさん」が死亡、「ぜに子さん」は1人暮らし。シリーズ化できる内容で作成し、1年で何回か分けて紹介していく。</p> <p>例題1として、孤独死、病状の悪化を想定し、そういう方々を医療介護連携でどうサポートできるかという内容はどうか。今は、コロナ渦で外出しにくい状況になっている。高齢者のひきこもりが原因で、孤独死に繋がってしまうのではないかとということで、医療介護連携で支えていく。</p> <p>例題2としては、「浮き代さん」のパート先に来るケースを想定し、どう対応するかなど例題を作ってもよい。</p> <p>①が大きい内容でシリーズ化できる内容。それにそって</p> <p>②は病気の早期発見とか、一般の方が、「頭痛い」、「手が動きにくい」等の症状が出た時に、どの科を受診したらいいのか分からないこともあるので、予防法や治療法、病気の種類に分けて紹介できたらよい。</p> <p>1番最後は、時事ネタ、研修報告その他。介護関連施設、在宅医療に関わってくる病院、診療所、薬局の紹介と部員が順番にコラムを載せる。</p> <p>2枚目、こんな意見があった。原点に戻って、介護保険の仕組みや</p>

松井委員

保険を使うのにはどうしたらいいのか、どこに相談したらいいのかなど基本的な情報をシリーズ化。研修部会が作成した DVD など色々なツールで情報発信した方が良い。ひとつ題材を決めてそこに対して医療と介護がどんなサービスをしていけるのかをやっていけたら良い。

私の方からは2ページ目に書いてある事を少し。特集として ACP, MCS とかを詳しく。一般の人、専門職の人も知っておく必要がある。

認知症ならかなり幅広い知識が必要になってくるが、そういうのをピックアップして市民の皆さんや専門職の方に知っていただく。

介護関連、在宅医療の施設というのを、薬局などの方にもこんなことを考えているなどの紹介、そういうのもよい。コラム、編集後記などはスペースが空いた時に入れる。

会長からもご意見あったが、今まで何回か部員の交代があった。せっかく関わって下さったので辞める方、新しい方の写真と挨拶を載せたらどうか。

行田人の「ふらべえさんサポート大作戦」は、今は3ページ。多いのでひとつの題材ではもったいない。一度に載せてもいいのだが、そこは小出しにして1, 2ページメインにして、3ページ目はまた違う題材にする。4ページ目は他の部会の活動などを載せる。グリーンピアの新井さんからのご意見だが、『行田人』で介護保険の仕組みを取り上げても良い。

介護保険の仕組みは1回では済まないのでシリーズ化しても良い。

こういうのが良い、こんなの伝えた方が良いとかありますか？

今、介護予防の観点から事業対象者が増えている。ほとんど自立しているが運動が足りない。フレイル予防で運動のやり方、画像、写真とか載せても良い。スクワットの名前を知っていてもやり方を間違っていたりする。

介護予防についても触れておきたい。

介護保険を使っていない人にも目を引くと思う。

県と一緒に、蓮田市さんの支援をやらせていただいている。蓮田市さんは介護予防を凄く頑張っている。DVD を作ったり、運動だけに特化した冊子を作るという話になっている。蓮田市さんは180人位サポートがある。30グループ位あって、20人、30人集まってやって

浅見委員

山岸委員

松井委員

山岸委員

寒河江委員

	<p>いるところがあるが、大体それが10グループ位ある。</p> <p>コロナだから出かけたくないという方もいるので、そういう方々に対して運動とかの冊子を作ってお渡しする。行田はまだそういったものがない。コロナでも「こうたら大丈夫だ」というのが必要。フレイル予防も必要。チェックシートを作ってチェックしてみて下さいと広報しようと考えている。</p>
松井委員	シリーズ化するとして、大体1ページで済むか？
寒河江委員	はい。蓮田市の場合は「ハスキー体操」という錘を使った体操を載せている。
松井委員	家で簡単にできるものがよい。
寒河江委員	テレビ見ている間にできるものを。
山岸委員	運動量や一日に必要な回数をよく聞かれる。運動の種類はシンプルに多くない方がよい。次はこんな運動やりますと予告する。そういう流れでは如何か。
松井委員	いくらでもあるということ？
寒河江委員	決まった体操はある程度ある。
松井委員	基本的に回覧で回るので手元に残しておけない。簡単に見て覚えられるものを載せる。
山岸委員	真面目な方は部屋に貼っておいたりする。運動の仕方を教わってきたり、調べたりする人もいる。
川島会長	<p>そもそもの話、縦の展開としては、介護予防から看取りまでという軸があり、横の展開としては高齢者、母子、障がい者の地域共生の軸がある、どこかの軸を作りながら作業に参加する。もう一つはエンドポイントと言って、在宅では出来なくなることが3つある。</p> <p>排せつ、認知が悪化すること、移動ができなくなること。この3つのポイントで「ふらべえさん」をまた認知症にしてもいいし、誰か移動できなくさせてもいいし、エンドポイントをどうすれば、在宅がもうちょっとみられるんだという事を作ってあげると良い。</p> <p>来年から医介連携で取り組む新しい事が2つある。</p> <p>感染と災害のこと。コロナに罹った話や、災害時高齢者はどうしたらいいかという話も出来る。どのポイントから話を広げていくのかといった方が筋が立てやすい。</p>

<p>寒河江委員 加藤委員</p>	<p>看取りの長いスパンを考えると介護予防より看取りか。 今回シリーズだったので、市民の方からすると同じものと思われて手に取ってもらえない。表紙を変えた方が良い。コロナの関係もあり配布場所や部数を考える必要がある。沢山作っても手に取ってもらえない。回覧板ではなく配る形にしたらどうか。</p>
<p>松井委員</p>	<p>今まで医療機関などに置いたが、1世帯1枚はどうか。</p>
<p>川島会長</p>	<p>2万世帯ある。</p>
<p>松井委員</p>	<p>今、作成部数はどのくらいか？</p>
<p>加藤委員</p>	<p>9、500部。</p>
<p>寒河江委員</p>	<p>看取りならずっと手元に置いておきたい。</p>
<p>松井委員</p>	<p>2万部、市の意見は？予算は？</p>
<p>横山推進幹</p>	<p>全戸配布の方向も良い。市報を自治会配布している。自治会に依頼しないと出来ない。シリーズ化されているという事でバックナンバーも欲しいという方もいらっしゃる。市報もそうですがHPにアクセスすればバックナンバーは見る事が出来る。ただお年寄りの方は見られないと思うので、アナログでも見られる様にして公民館や図書館にも置く。</p>
<p>松井委員 事務局</p>	<p>うちは半分も無くならない。配布場所を検証した方が良い。 市民が見られる様な方法を考える。 来年度、予算を増やすなら医療介護連携事業の予算を何か減らしてシフトするとか、全体的な事業の見直しが必要。 市報もそうだがHPにバックナンバーを上げるのも必要。公民館に行けば紙ベースで見られる事も市報などでお知らせする。</p>
<p>松井委員</p>	<p>図書館はコピー出来るか？</p>
<p>事務局</p>	<p>できます。</p>
<p>寒河江委員</p>	<p>元気なやる気のある人は自分で情報収集すると思うが、やる気の無い人、家から出られない人など、自助したくない人にも伝える必要があるため、全戸配布する方法もある。</p>
<p>事務局</p>	<p>全戸配布は市でも検討する。</p>
<p>松井委員</p>	<p>一番最初は、全戸配布は無理と言われた。</p>
<p>横山推進幹</p>	<p>自治会の承認があれば、理解はしてもらえらると思う。</p>
<p>松井委員</p>	<p>広報は毎月か？配布時期を同じにしてもらって年4回とか。別に配</p>

<p>事務局 松井委員</p>	<p>るのも手間だろうし。 配布回数を現状の4回から3回にするとか。 全戸配布となると3回になるか。シリーズ化にするのは保管してもらうことが前提であった。</p>
<p>寒河江委員 松井委員 寒河江委員</p>	<p>回覧版に挟むだけで、貰う訳ではない。 本来なら貼っておいていただきたい訳で、とっておいてもらいたい。 必要に応じて見返してもらおう。回覧板で見てその時リアルタイムで必要な情報ならコピーするかもしれないが。</p>
<p>松井委員 寒河江委員</p>	<p>必要なければそのまま終わる。 コピーする人は殆どいないと思う。インターネットで市のHP見て情報を探す人がどの位いるか。</p>
<p>山岸委員 事務局</p>	<p>市のHPではまだ？ 行田人については、市の医療介護連携のページに協議会の議事録等と併せて掲載しているが、バックナンバーのページとしては作成していない。</p>
<p>松井委員 寒河江委員</p>	<p>表紙が確かに皆同じ様ですね。 コロナで足腰弱ってきたと、介護予防で入れて、看取りの方までシリーズ化しても面白い。</p>
<p>加藤委員 寒河江委員 事務局</p>	<p>市民に対しても具体的に示してあげると入りやすい。 市報でも色々コロナの情報を取り上げていると思うが。 特集等でコロナアンケートを組んだり、介護予防の部分とか少し設けている。</p>
<p>寒河江委員 事務局</p>	<p>そういうところと被らないようなことを特集する。市報と同じ事をしても仕方ない。 折角良い記事を行田人で作っても市報と被ってしまうと手に取ってもらえなくなってしまう。被ってしまいそうなことがあれば、市報の内容の変更はできる。</p>
<p>山岸委員</p>	<p>一緒に作るか、時期をずらすか。今までは、ずれているのですよね。 市報と行田人の市民への配布の仕方は違うのですよね？</p>
<p>松井委員 山岸委員</p>	<p>同じではない。 今一緒にしようという案がでてきていますよね、その辺はどうするかという話ですよね？</p>

松井委員	そうしないと自治会長に手間が発生してしまいますので。
事務局	配布自体は、一緒に市報に挟む形になります。
山岸委員	社協だよりとかは？
事務局	年3回です。市報と一緒に配布しています。
山岸委員	まず、数を増やしていいかどうかですよ。
松井委員	3回か4回にして、あまり手に取ってくれなかった施設の分を少なくして、全戸配布ができればよい。
寒河江委員	病院ではリハビリの所に置かせてもらっているが、正直手に取る人はいない。
松井委員	余っていると聞く。
寒河江委員	見ている様子はあるが、持って帰らない。
松井委員	「これどうぞ」と言うと、「そんな年ではない」と返された。家があれば目を通す機会はある。全戸配布が理想。
寒河江委員	余ってしまうと勿体ない。
松井委員	いずれは処分する事になる。
寒河江委員	介護保険が頭がない人は、基本持って行かない。例えば、ケアマネや包括が担当している人の所に持っていくが、既に介護受けている人に渡しても意味がない。
松井委員	自分も親もそういう状況になれば見ない。
寒河江委員	「ふらべえさん」、「ぜに子さん」目線で作っているが、「忍太さん」とか「足袋子さん」目線で作っても良い。あなたが50代だったとしてどんな動きがあるかみたいなこと。そういう人達目線の相談の仕方を考える。
山岸委員	発行の仕方から考えないと。
松井委員	全戸配布に期待を持っている。施設団体などに、どんな配布の仕方をしているかアンケートをとっても良い。
事務局	検討させていただきます。
寒河江委員	市報、社協と被らない様に。
山岸委員	福祉用具の紹介。支援の人が使っている事が多い。どんな物があるか知らない人もいる。
松井委員	こんな時にこういう物があるとシリーズ化できる。
山岸委員	福祉用具の連絡会みたいなものはあるか？

事務局	福祉用具事業者に関しては、情報が無い。
山岸委員	一般の人は福祉用具を知らない。
松井委員	基本的な知識、そういう所から教えてもらいたい。
浅見委員	市民の方に今一番知りたいことや疑問に思っていることをアンケートで取れたら良いのだが、それは難しいので、家族にこれを知っていますか？などと聞いたりする。
松井委員	市の方にそういう問い合わせが沢山あると思うが、そういうのをピックアップして医療介護職が答えるという提案をした事があったが、そういう相談はある？
事務局	介護保険制度がわからない方、どんなサービスがあるのかとか、福祉用具等細かい質問もある。
松井委員	沢山疑問はあることがわかった。記録はしているか？
事務局	そこまではしていない。
松井委員	市に多かった疑問を、「ふらべえさん」に合わせて、「足袋子さん」の立場から知りたい事を答える。
事務局	8期の介護保険計画作成に係る市民の意識調査(アンケート)で、介護受ける方受けてない方のアンケートがある。そこからピックアップできる。
山岸委員	市民の知りたい事を元に作成すると、より市民の為になる。今まで、市民が知らないであろうという程で作っている。
松井委員	広がり過ぎると難しい。
寒河江委員	介護予防は、高齢者だけでなく障がいとか母子とか共生社会。医療支援できる人出来ない人いると思うが難しい。
山岸委員	そこは広げすぎると難しい。高齢者、しかも介護と医療だから、介護保険のところが対象。市の方で、一般市民が市に呼び掛けた時に答えてもらいたいような事をここに載せたら良い。
山岸委員	事業所の特色を載せても良い。デイケアならデイケアの事業所の特色を載せるのも手。
事務局	ケアマネが情報を持っているが、伝えきれない部分もある。そういう人達の為に情報として少しずつ、デイケアならデイケアの事業所の特色をリストアップして載せるのもよいのでは。
松井委員	リストを載せてもいいのですが、施設長やケアマネの言葉で特



	色を紹介してもらおう。1, 2 ページ目を大きい特集、3 ページ目を体操などそこは毎回変わっても良い。
山岸委員	1 ページ目は「ふらべえさん」とかの相談に対するサービスの紹介をして、2 ページ目は通所なら通所の事業所の特徴を載せる。通所と通所リハで1 ページを使うとか。
寒河江委員	通所だけにしないで、その一面に、福祉用具、入浴など混ぜてしまおうとか。比べるなら通所なら通所、デイケアならデイケアのリストを載せた方がよい。どちらの紹介の仕方がよいよいかは分からないが。
山岸委員	全部の事業所を一覧で見られた方がよい。市の資料は一覧のリストになっている。
事務局	市のリストは事業所名と住所、連絡先だけの情報ですが一覧にしている。
松井委員	見開きで載せたら一度で終わるが。
山岸委員	特色まで載せると、無理がある。
松井委員	介護予防あたりから焦点を当てて、「ふらべえさん」「ぜに子さん」の状態を作って、それに対する対応のページにする。それに関わる業者、職業をくい込ませる。今までは、紹介だけだったが、だんだん弱っていて看取りという流れ。
山岸委員	配布場所は、次回も今までと同じ方式で各施設に調整して置く？
松井委員	はい。数を調整して、市で大丈夫なら全戸配布できるように。
山岸委員	今ここで決める事といたら内容ですね。
松井委員	そうですね。色々意見は頂いたので考えさせてもらおう。
山岸委員	介護予防も最初に少しだけ載せても良い。1 ページ使うかどうかは分からないが。
松井委員	他市のものとか見ると、細かく分散してその時々の記事がある。一つの内容を大きく載せるのではなくて小出しにしていくのが良い。最初は王道だが認知症から始めても良いと思う。
山岸委員	認知症ともの忘れの違いとか。
寒河江委員	医介連携ですから医療と介護に繋げたいのがメイン。
松井委員	介護保険の仕組みとか、認知症の項目と介護保険の項目を一緒に進めても良い。
山岸委員	軽度の認知症が旦那さんに見えてきて、デイに通ってほしいという

寒河江委員	<p>話が増えた。</p> <p>実際どうしていか分からないと思うので、「ふらべえさん」に病院に受診させて、介護保険を使って通所とか福祉用具レンタル等に繋げても良い。</p>
松井委員	<p>「ふらべえさん」に色々な状態、病気になってもらう。</p>
寒河江委員	<p>自分の家族がそうなったときにどうするかわかるものがよい。</p>
山岸委員	<p>「ぜに子さん」は認定受けていない？物忘れのみ？今までは、「ぜに子さん」が介護予防の対象になっていた。奥さんが別のリハビリに行くとかそういうのも増えている。</p>
浅見委員	<p>介護予防の方から入りますか？</p>
松井委員	<p>まだ時間はありますので後で案を出しますので、それを検討していただく。</p>
寒河江委員	<p>川島先生が、排せつ、認知、移動の3つ仰っている。認知症でこういう事ができないからこうしましょうとか、その3つをメインにやると浮かびやすい。</p>
山岸委員	<p>盛り沢山だと入らない。</p>
松井委員	<p>3つは無理。段階的に小出しにする。</p>
寒河江委員	<p>根本的に、皆さんに目にさせていただくにはどうしたらいいかという課題はある。</p>
松井委員	<p>移動販売は市と協力してやっている？</p>
事務局	<p>地域課題として買い物課題をやってほしいということで、斡旋のPRはできないが、地域の高齢者状況を伝えて、買い物課題の多い地域からやってもらい、市内全域に広まった。移動販売を行っているという情報なら載せられる。</p>
松井委員	<p>市民から市に、訪問販売について聞かれたら答えるのか？</p>
事務局	<p>固有名詞は出せませんが、「実施しています」と返答する。</p>
寒河江委員	<p>デマンドタクシーは？</p>
事務局	<p>市でやっています。</p>
寒河江委員	<p>デマンドと移動販売とか。移動販売は詳しくはケアマネさんか民生委員さんまでとか。</p>

事務局 松井委員	PRしたいところではあるが、今は、口コミで広めていく方針。 集落単位の小さい単位10軒位で集まって、外に出てこれない人には届けてあげるというコミニュティができれば。
事務局 寒河江委員	出てきてもらえば介護予防につながるよ、 <i>×かう提案もいた。</i> これからどんどん需要は高まると思う。市民の希望に直結する内容でやっていきたい。
松井委員 浅見委員	またご相談させていただきます。1年に1回位集まるイメージで。 排せつ、認知、移動とかで皆さんからご意見いただきました。 それを元に動いていただければと思います。お疲れ様でした。
全委員	お疲れ様でした。 ○閉 会

